

資源総合R施設を起工

日本紙パルプ商事／石坂グループ

40億円投じ来夏稼働へ

日本紙パルプ商事（東京都中央区）と有価物回収協業組合石坂グループ（熊本市、石坂孝光代表理事）が設立したエコポート九州（熊本市、石坂孝光社長）の総合リサイクル工場の起

工式が2009年11月18日、熊本市新港の建設予定地で催された。

される。順調に進めば、10年7月にも操業を開始する。

新工場は、総事業費40億円を投じ、熊本市の湾岸部に位置する用地（敷地面積／2万7866平方メートル）に建設

事業としては、①廃プラスチックマテリアル事業②機密文書溶解・リサイクル事業③木質原料製造事業④固形燃料（RPF）製造事業―を柱に据え、展開する。

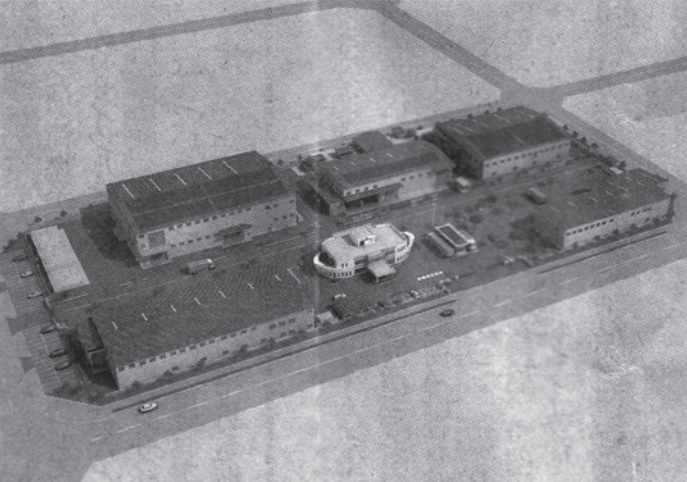
カーへ出荷していく。木質原料製造事業では、風倒木や間伐流木などを集荷。破碎・圧縮、固形化し木質ペレットを製造する。原料としてボードメーカーに出荷するほか、農業用ビニールハウス等で燃料利用していく計画だ。

廃プラスチックマテリアル事業は、回収した廃プラに光学多重選別を施した上、破碎・

RPFは、工場内各施設の工程で発生したしていく。

洗浄。高純度な再生ペレットを製造し販売する。

4事業トータルで、年間4万―5万トンの資源物のリサイクルを見込む。



資源総合リサイクル施設の完成予想図

機密文書溶解・リサイクル事業は、自主回収または自治体や企業から機密文書を受け入れ。保管箱は開封せず、そのまま溶解し古紙、パルプを製造、製紙メー